

やってみよう！任せてみよう！

(地域教育連絡協議会「高南祭」・高南中)



↑高南祭子ども実行委員会の様子

高南祭は生徒の「〇〇したい」を実現する場として、今年度から新しい形で実施をしました。左の写真は、「高南祭子ども実行委員会（以下、「実行委員会」という。）」の様子です。地域教育連絡協議会の事務局を担っている青少年委員が会を運営しています。6月下旬にスタートした実行委員会は全体としては全7回ですが、コーナーごとの集まりや臨時会なども実施したそうです。青少年委員の方に聞くと「小学生の時、子ども実行委員として高南祭に参加したとき、中学生実行委員の姿を見て、自分も実行委員になって高南祭を運営すると決めていた。」「3年生は忙しいから2年生が中心になってがんばりたい。」という声が第1回の実行委員会で聞いたことが嬉しく、できる限り生徒の考えを尊重して運営しようと思ったそうです。立花校長はじめとする高南中の先生方も「自分たちで何かを創り出す貴重な機会になるから、任せてみたい。」と、地域教育連絡協議会と同じ方向を向いて生徒を見守っていました。



高南祭当日。実行委員を中心に、生徒が主体的に準備に取り組む様子を見て、自分たちなりにできることをやってきた自信と、この祭りを楽しみたいという気持ちが伝わってきました。高南中生だけでなく、近隣の小学校や保護者の方などが参加し、ゲームに舞台発表にと高南祭を楽しんでいました。

青少年委員が担当したコーナーでは、中学生と学校運営協議会をはじめとする地域の方、小学校の校長先生など様々な立場の人との懇談が行われました。テーマは「放課後のしあわせな過ごし方」です。世代を超えて「しあわせ」について考える機会になりました。参加した人たちは世代間のギャップに驚きつつも新たな気付きもあり、大変盛り上がりました。地域教育連絡協議会が中心となりつつ、先生や保護者とも連携を図ることで開催できた高南祭となりました。



今の中学生は選択肢が多いから大変そうね。

学校の中に、憩いの場があるなんてうらやましい。

私たちの頃は何をしてもない自由な時間があったなあ。

↑地域の方との懇談の場と参加者の感想

生徒の感想

初めてだらけで大変だったけど、やりがいがあった。

実行委員をやってよかった。みんなで一丸になれた。

高南祭を通して、色々な人と関わってよかった。

準備もやりがいがあって自分のよい経験になった。

実行委員のみんなと協力できてよかった。